



ここに **COSEL**

2025年5月期 通期
決算説明資料

コーセル株式会社

2025年 6月18日

2025年5月期 通期実績

通期実績

売上高・利益ともに前年比で減収減益

売上高

- ・半導体製造装置やFA向け製品は顧客の在庫消化が進まず売上低調
- ・産業機器市場は中国景気停滞の影響による需要回復の遅れ
- ・基幹システム移行による一時的機会損失（7億円）

営業利益

- ・売上高減少と変動費比率上昇による利益減少
- ・基幹システム移行による一時的機会損失（3億円）
- ・LITEON資本業務提携費用発生（2億円）

当期純利益

- ・基幹システム移行・開発の見直しによる特別損失（3.9億円）
- ・協力会社清算支援損による特別損失（0.2億円）
- ・収益性低下による税負担（0.7億円）

LITEON 業務提携

営業・開発・調達・新ビジネス 各担当で連携活動

- ・第3四半期より北米市場でクロスセルを開始し、業績寄与
- ・共同開発品の新ブランド、「COSELSYNC.」立ち上げ

売上高	・ 半導体製造装置やFA向け製品は顧客の在庫消化が進まず低調
営業利益	・ 売上減少に伴う収益性の低下
当期純利益	・ 基幹システム移行に伴う一時的機会損失（3億円）、LITEON資本業務提携費用（2億円） ・ 基幹システム開発見直しによる特別損失（3.9億円）、収益性低下による税負担（0.7億円）

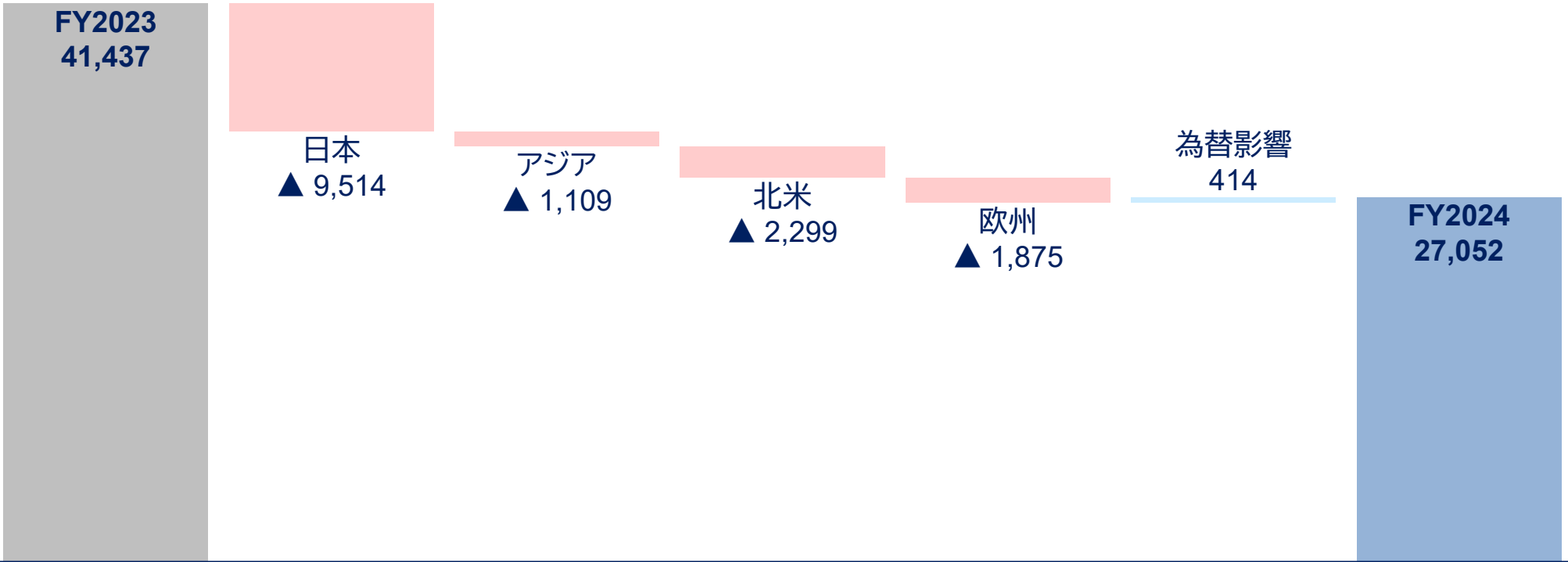
(単位：百万円)	FY2023 実績	FY2024							
		12月20日発表 修正予想	実績			前年通期比		修正予想比	
				上期	下期	増減	%	増減	%
売上高	41,437	29,174	27,052	14,855	12,197	▲ 14,384	▲ 34.7%	▲ 2,121	▲ 7.3%
売上総利益	13,743	-	7,207	4,048	3,158	▲ 6,536	▲ 47.6%	-	-
販管費	6,831	-	6,579	3,414	3,165	▲ 251	▲ 3.7%	-	-
営業利益	6,912	1,245	628	634	▲ 6	▲ 6,284	▲ 90.9%	▲ 616	▲ 49.6%
営業利益率	16.7%	4.3%	2.3%	4.3%	▲ 0.1%	▲ 14.4pt	-	▲ 2.0pt	-
経常利益	7,850	1,278	740	594	146	▲ 7,109	▲ 90.6%	▲ 537	▲ 42.0%
経常利益率	18.9%	4.4%	2.7%	4.0%	1.2%	▲ 16.2pt	-	▲ 1.7pt	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,169	751	▲ 113	278	▲ 392	▲ 5,283	-	▲ 864	-
USD / JPY	146.26	148.56	151.84	152.11	-	+5.58	-	+3.28	-
EUR / JPY	158.29	163.39	163.62	165.77	-	+5.33	-	+0.23	-
SEK / JPY	13.75	14.24	14.39	14.48	-	+0.64	-	+0.15	-

売上高増減 [前年比]



売上高：270億52百万円（前年比 ▲143.8億円 ▲34.7%）
日本：顧客の過年度先行手配による顧客在庫未消化と発注調整
アジア：中国経済の停滞による需要調整局面が継続
北米：前期増産対応に伴う出荷による顧客側の在庫過多と発注調整
欧州：景気不透明感による先行手配需要の調整

（単位：百万円）

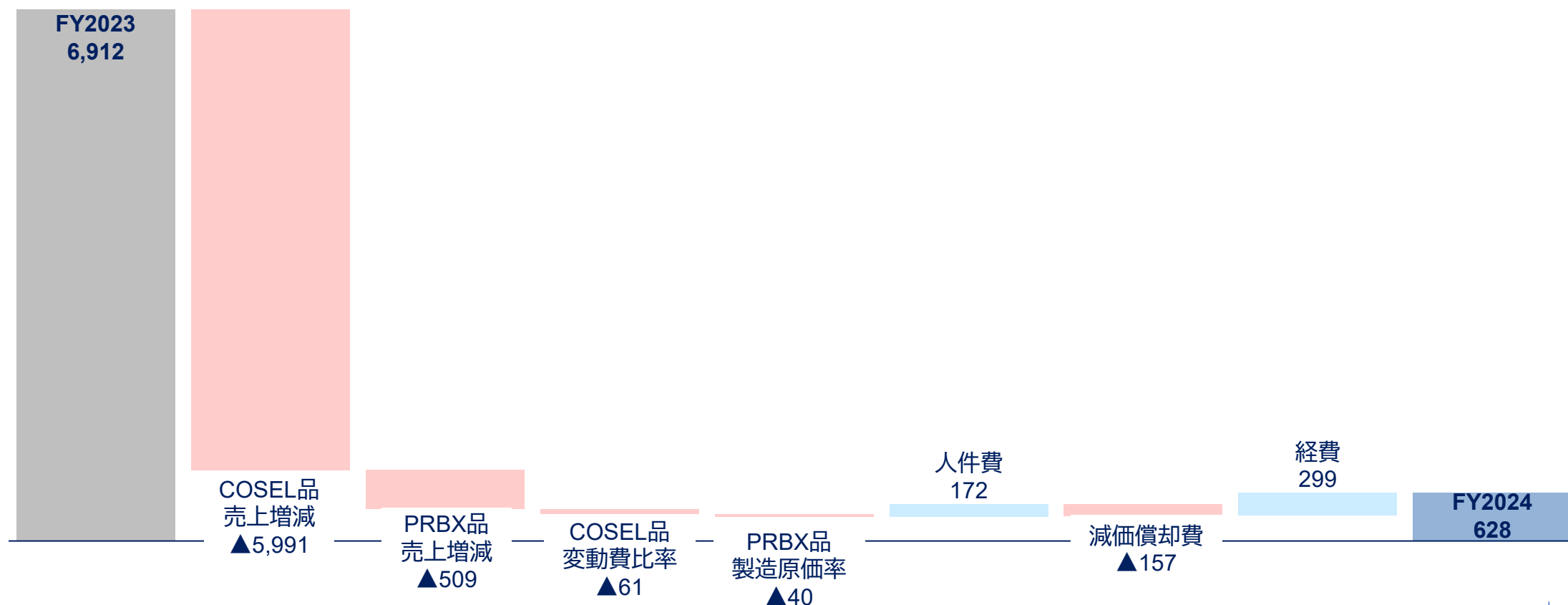


営業利益増減 [前年比]

営業利益：6億28百万円（前年比 ▲62.8億円 ▲90.9%）

- ・売上高減少と変動費比率上昇による営業利益減少
- ・基幹システム移行による一時的機会損失（3億円）
- ・LITEON資本業務提携費用（2億円）

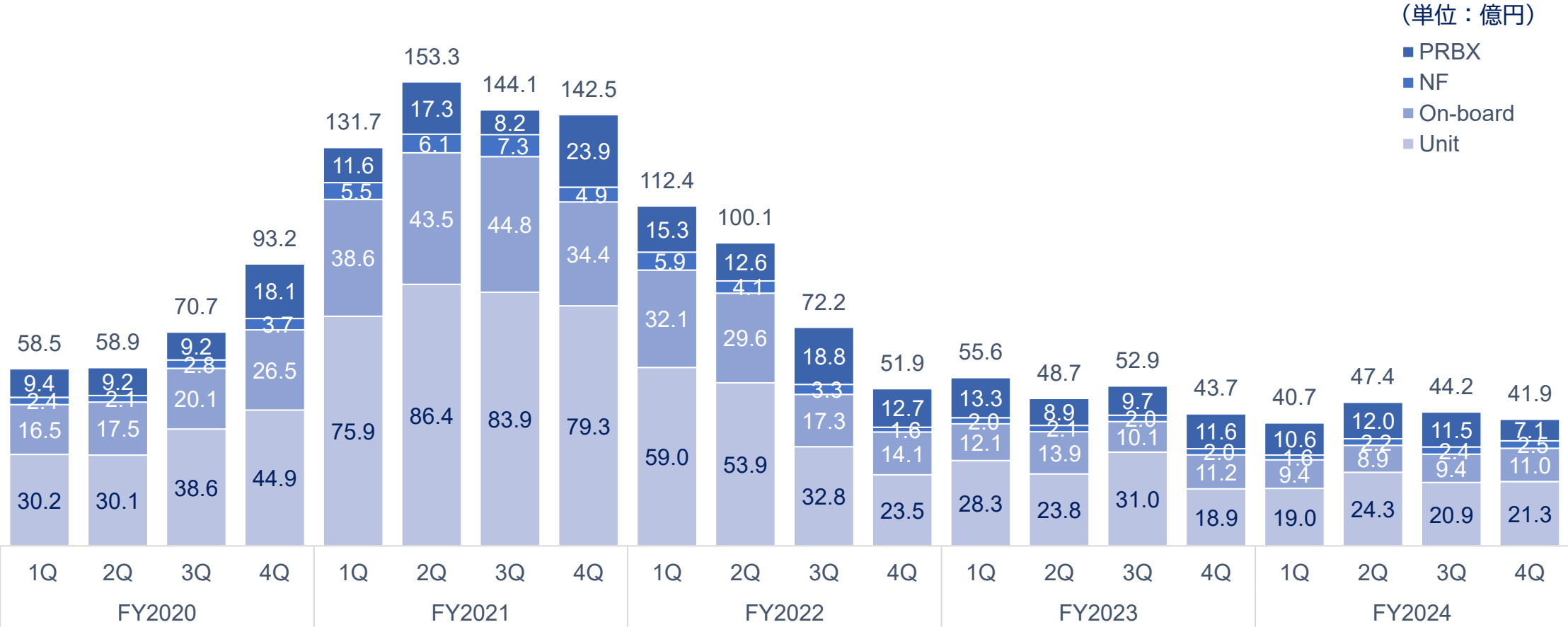
（単位：百万円）



受注高推移 [製品別]



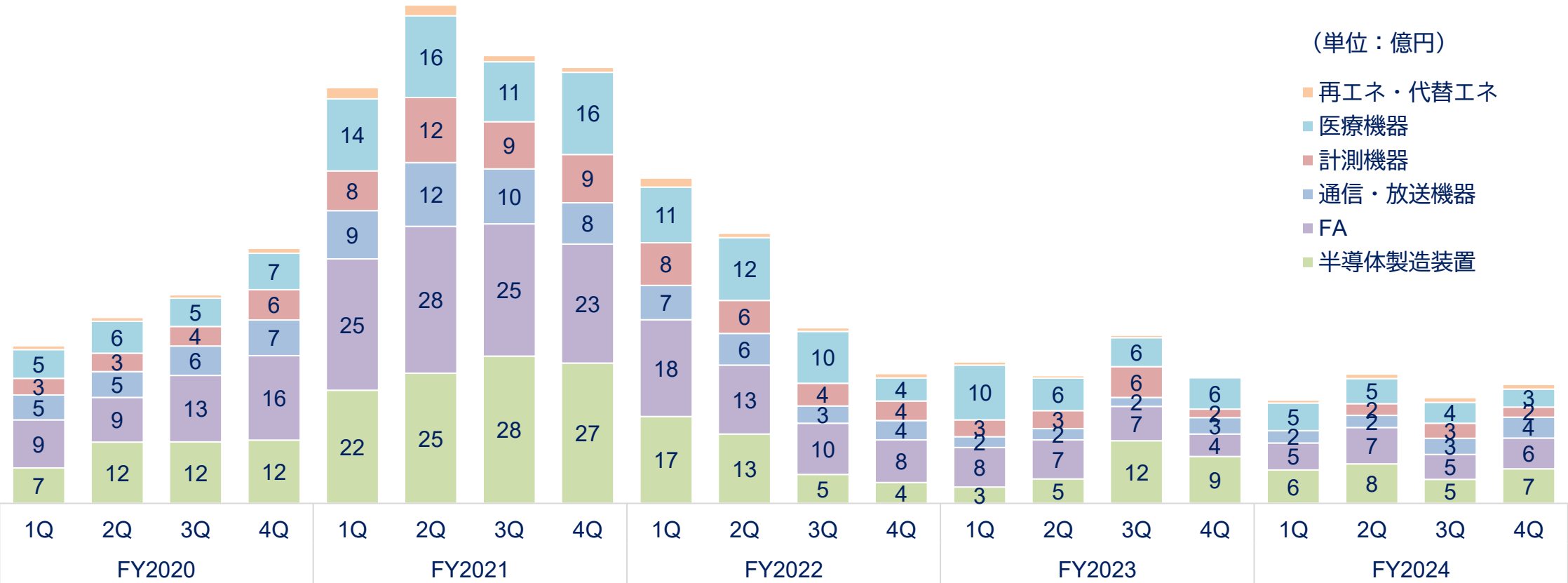
- ・ 過年度の受注増加の反動により2022年度4Q以降の調整局面が続いた
- ・ 2024年度も年間を通して低調に推移した



受注高推移 [主要業界別]

- ・ 過年度の受注増加の反動により調整局面が続いた
- ・ 半導体製造装置や計測機器向けも継続して低調に推移した

主要6業界 受注高 (その他業界・PRBX除く)



連結貸借対照表



総資産 599.9億円（前期末比+56.0億円）
現預金 +108.7億円（LITEONによる増資）

自己資本比率 93.1%（+6.5pt）
棚卸資産▲2.9億円

（単位：百万円）	2024年5月期 (2024/5/20)	2025年5月期4Q (2025/5/20)	増減
現金及び預金	16,909	27,789	10,879
受取手形及び売掛金	9,785	5,664	▲ 4,121
電子記録債権	2,422	1,517	▲ 905
棚卸資産	11,533	11,239	▲ 294
流動資産 計	41,161	47,760	6,599
有形固定資産	7,566	7,268	▲ 297
無形固定資産	1,441	1,040	▲ 400
投資その他の資産	4,227	3,927	▲ 300
固定資産 計	13,235	12,237	▲ 998
資産 合計	54,397	59,998	5,601
自己資本比率	86.6%	93.1%	6.5pt

	2024年5月期 (2024/5/20)	2025年5月 期4Q (2025/5/20)	増減
買掛金	1,776	1,027	▲ 749
未払金	1,092	360	▲ 732
流動負債 計	6,008	2,830	▲ 3,177
繰延税金負債	462	793	331
固定負債 計	1,131	1,331	199
負債 合計	7,139	4,162	▲ 2,977
株主資本	44,544	54,020	9,476
その他の包括利益累計額	2,542	1,816	▲ 726
（自己資本）	47,086	55,836	8,750
非支配株主持分	170	0	▲ 170
純資産 合計	47,257	55,836	8,578
負債・純資産 合計	54,397	59,998	5,601

2026年5月期 通期予想

通期予想

売上高
営業利益

前年受注により上期は限定的、下期から拡大基調へ
部材調達コストの低減や新製品発売により、下期は大きく改善

(単位：百万円)	FY2024	FY2025				
	実績	予想	上期	下期	前年通期比	
					増減	%
売上高	27,052	33,325	14,728	18,597	6,272	+23.2%
営業利益	628	2,626	628	1,998	1,997	+318.1%
営業利益率	2.3%	7.9%	4.3%	10.7%	+5.6pt	-
経常利益	740	2,793	713	2,080	2,052	+277.0%
経常利益率	2.7%	8.4%	4.8%	11.2%	+5.7pt	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 113	1,907	406	1,501	2,020	-
USD / JPY	151.84	145.00	-	-	▲ 6.84	-
EUR / JPY	163.62	162.00	-	-	▲ 1.62	-
SEK / JPY	14.39	14.30	-	-	▲ 0.09	-

売上高・利益

- ・ 既存顧客（半導体製造装置・計測器・FA機器・医療機器）の受注と売上増加
- ・ 製品値上げ効果の実現
- ・ COSELSYNC.製品の拡販
- ・ LITEONとのクロスセル拡大および販売製品群の拡充

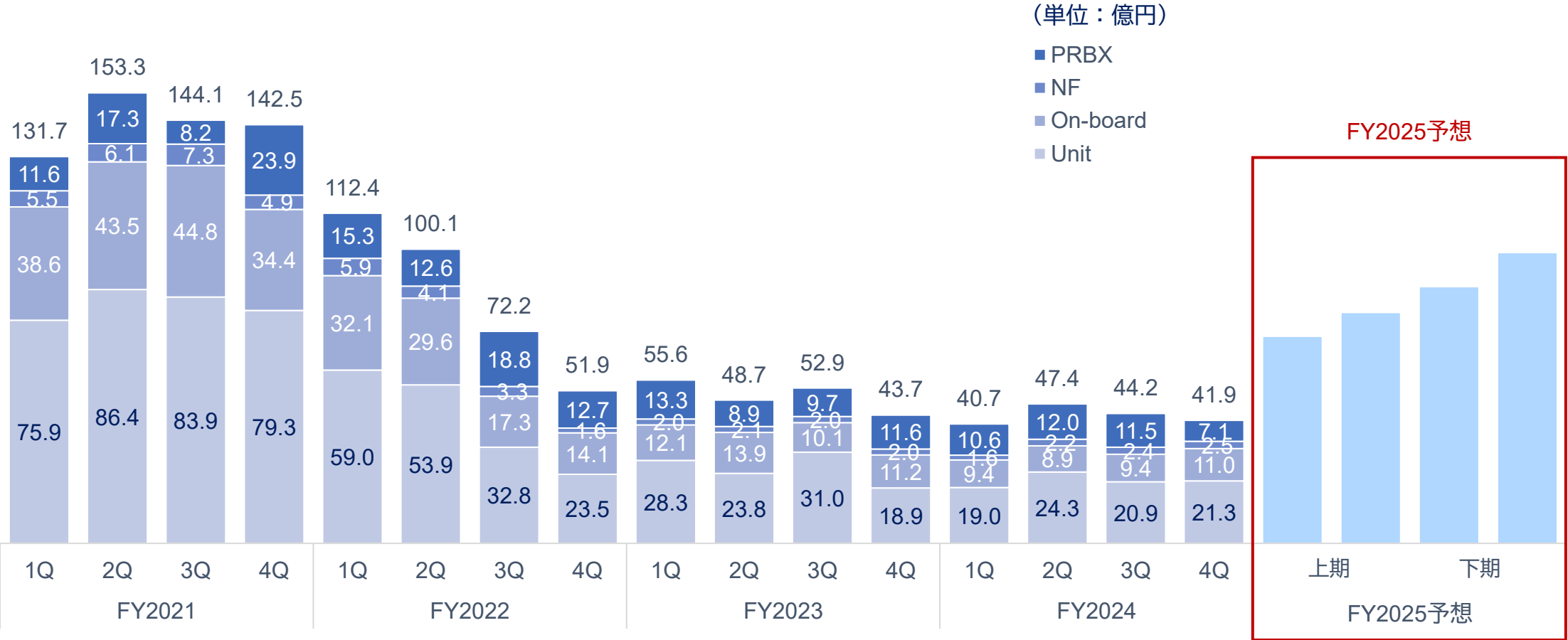
原価低減

- ・ 新製品の拡販による利益改善
- ・ コーセル単独での原価低減（材料費）実施
- ・ LITEONとの部品共同購買による安定調達とコスト削減

LITEON 業務提携

- ・ 連携活動を拡大継続
- ・ 業務提携シナジー発揮
- ・ 「COSELSYNC.」製品展開によるミドルレンジ市場への拡販
- ・ LITEONとのクロスセル拡大

- ・ 既存顧客（半導体製造装置・計測器・FA機器・医療機器）の受注増加
- ・ LITEONとのクロスセル拡大、COSELSYNC.製品の拡販



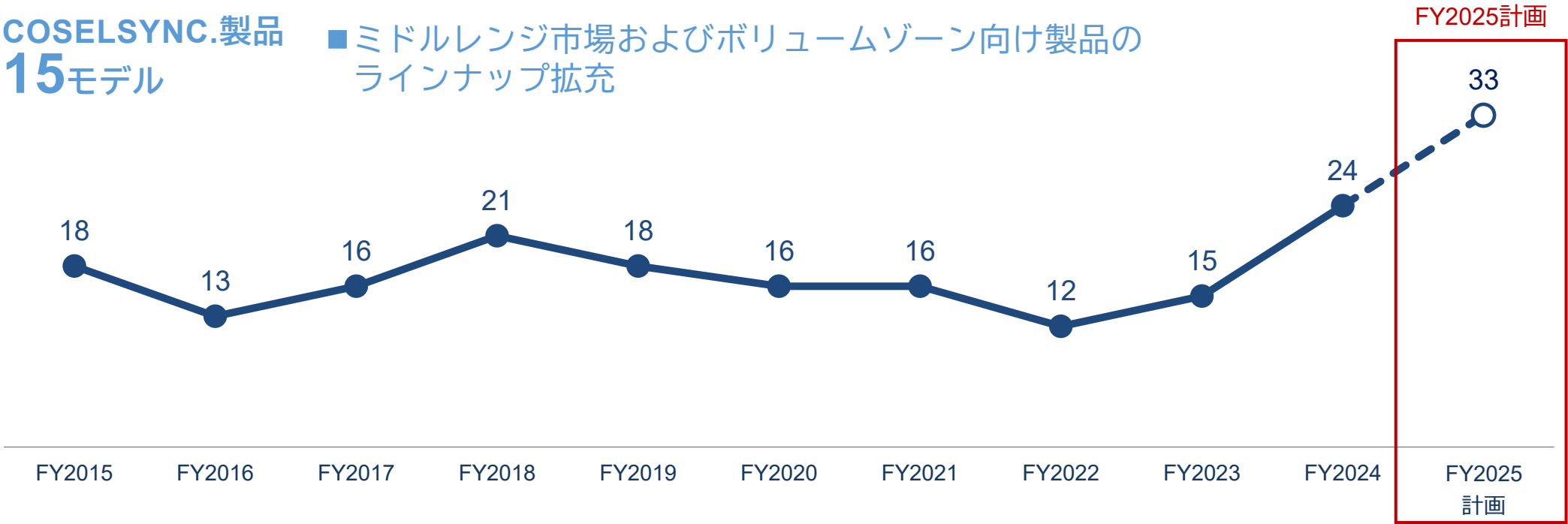
- ・ COSEL製品 18モデル、COSELSYNC.製品 15モデルの合計33モデルを開発
- ・ 市場ニーズにあわせた新製品開発と早期市場投入により、売上拡大と利益改善を目指す

FY2025 新製品開発計画

COSEL製品
18モデル

COSELSYNC.製品
15モデル

- 従来製品の後継モデルを市場投入し、製品の新陳代謝促進
- 新製品の拡充モデルを開発し、製品ラインナップおよびバリエーション強化
- ミドルレンジ市場およびボリュームゾーン向け製品のラインナップ拡充



株主還元

配当方針を変更し、累進配当を導入

(累進配当：原則として減配せず、配当の維持もしくは増配を行う配当政策)

(変更前)

当社グループは、中長期にわたり企業価値を継続的に向上させることと、株主に対する利益還元を充実させることを経営の重要政策と認識しております。

今後の利益配分につきましては、健全な財務体質の維持及び将来の事業拡大に備えるための内部留保とのバランスを図りながら、経営成績、財政状態及び将来のキャッシュフローを勘案したうえで、「**株主資本配当率 (DOE) 3.5%**」を**目処**とした継続的かつ安定的な剰余金の配当を行うことを基本方針といたします。

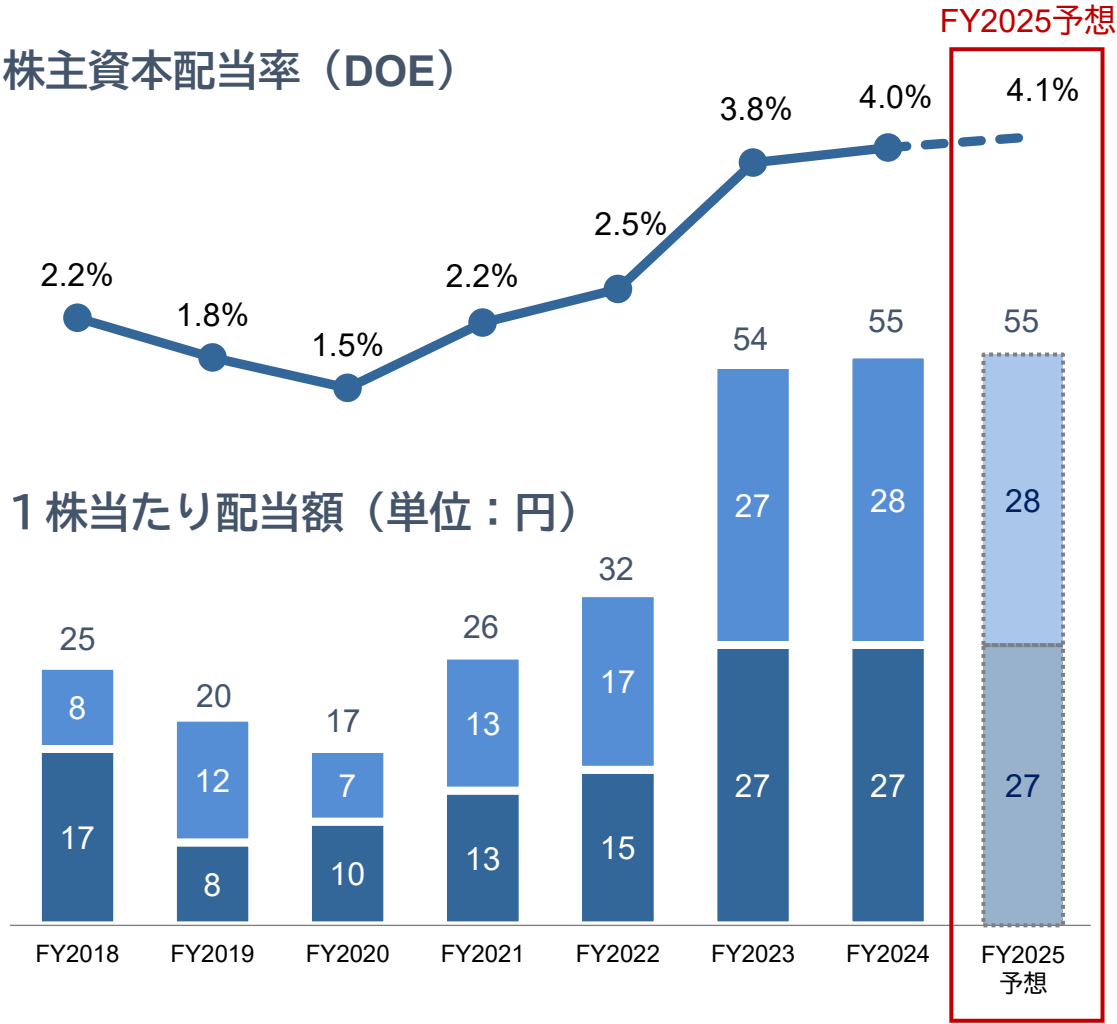


(変更後)

当社グループは、中長期にわたり企業価値を継続的に向上させることと、株主に対する利益還元を充実させることを経営の重要政策と認識しております。

今後の利益配分につきましては、健全な財務体質の維持及び将来の事業拡大に備えるための内部留保とのバランスを図りながら、経営成績、財政状態及び将来のキャッシュフローを勘案したうえで、「**株主資本配当率 (DOE) 3.5%**」を**下限とする累進配当**とした継続的かつ安定的な剰余金の配当を行うことを基本方針といたします。

2026年5月期は年間55円の配当とさせていただく予定



2025年5月期 配当金（1株当たり）

中間配当	27円（2025年2月支払済）
期末配当	28円（2025年7月下旬予定）
年間配当	55円

2026年5月期 配当金（1株当たり）

中間配当	27円（2026年2月上旬予定）
期末配当	28円（2026年7月下旬予定）
年間配当	55円

LITEONとの協業

より広く、より早く、世界とシンクロする。



Synchronization – 同期・同調

COSELSYNC. は、COSELとLITEON、ふたつの世界的電源メーカーの協働により誕生した新たなブランドです。

COSELの生産技術・品質・サポート力と、LITEONの回路設計技術・調達力・生産力を掛け合わせ、世界市場の多種多様な、また変化し続ける要求に的確に、迅速に応えていくことを可能とします。

技術と信頼のシンクロによって生まれる、世界のニーズとシンクロした多彩な製品群。

COSELSYNC. は、より広く、より早く世界へ COSELの新しい価値を届けていきます。

競争力のある「価格帯」と「品質・性能」の実現

- ・ COSEL の強み：①高品質の実現・サポートの充実 ②産業機器向け販売ネットワーク
- ・ LITEONの強み：①部品調達力 ②プラットフォーム設計による開発スピード

産業機器向け
標準電源メーカー



- 高品質の実現
- 充実したサポート
- 産業機器向け販売ネットワーク



- 産機向け販売 = COSELの販売ネットワーク
- 品質・サポート = COSELの信頼性
- 設計・開発 = LITEONのスピード
- 生産・コスト = LITEONの部品調達力



民生機器向け
カスタム電源メーカー



- 部品調達力（コスト・数量）
- LITEON工場での大量生産体制
- 開発スピード



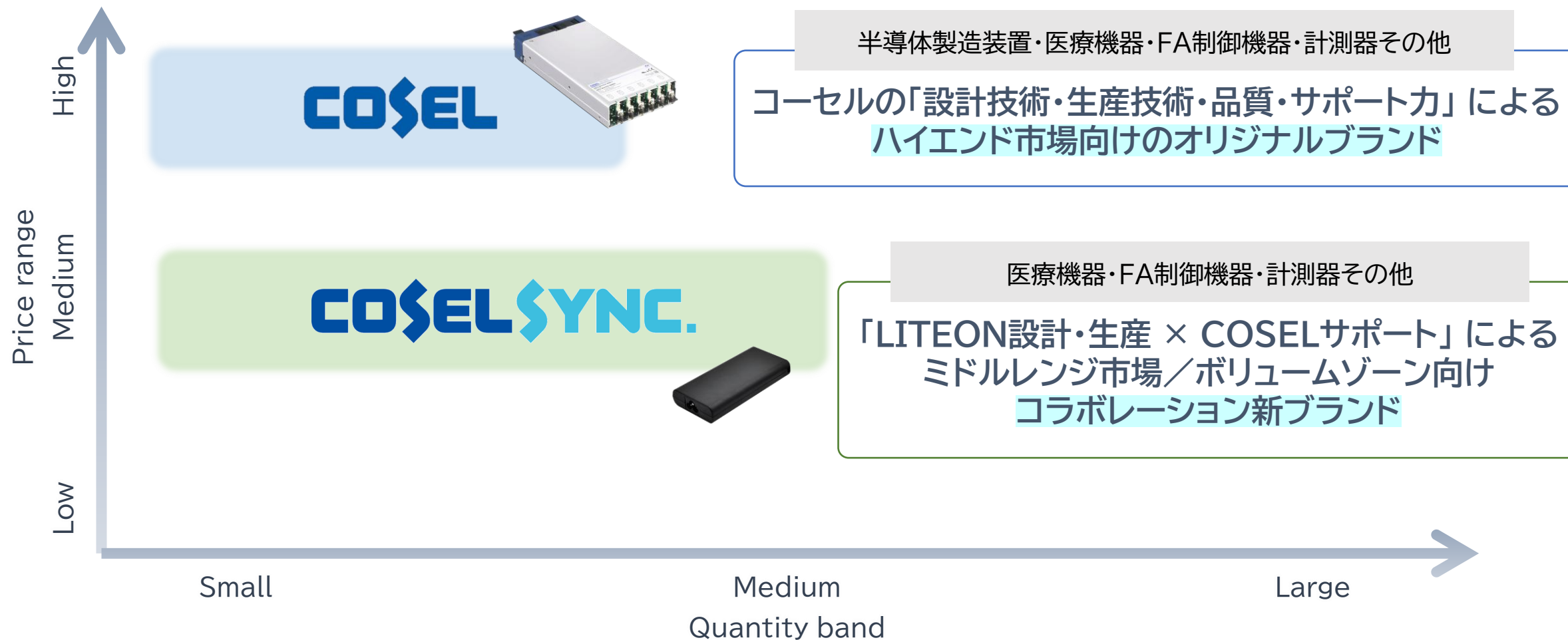
標準電源のリーディング
ブランドを目指す

- ミドルレンジ対応の幅広い製品
ラインナップを揃える
- COSELの部品調達力と開発リ
ソースを強化する

「COSELSYNC.」の位置づけ・ターゲット市場



新ブランド「COSELSYNC.」でミドルレンジ市場を攻略する
3年後の売上目標50億円



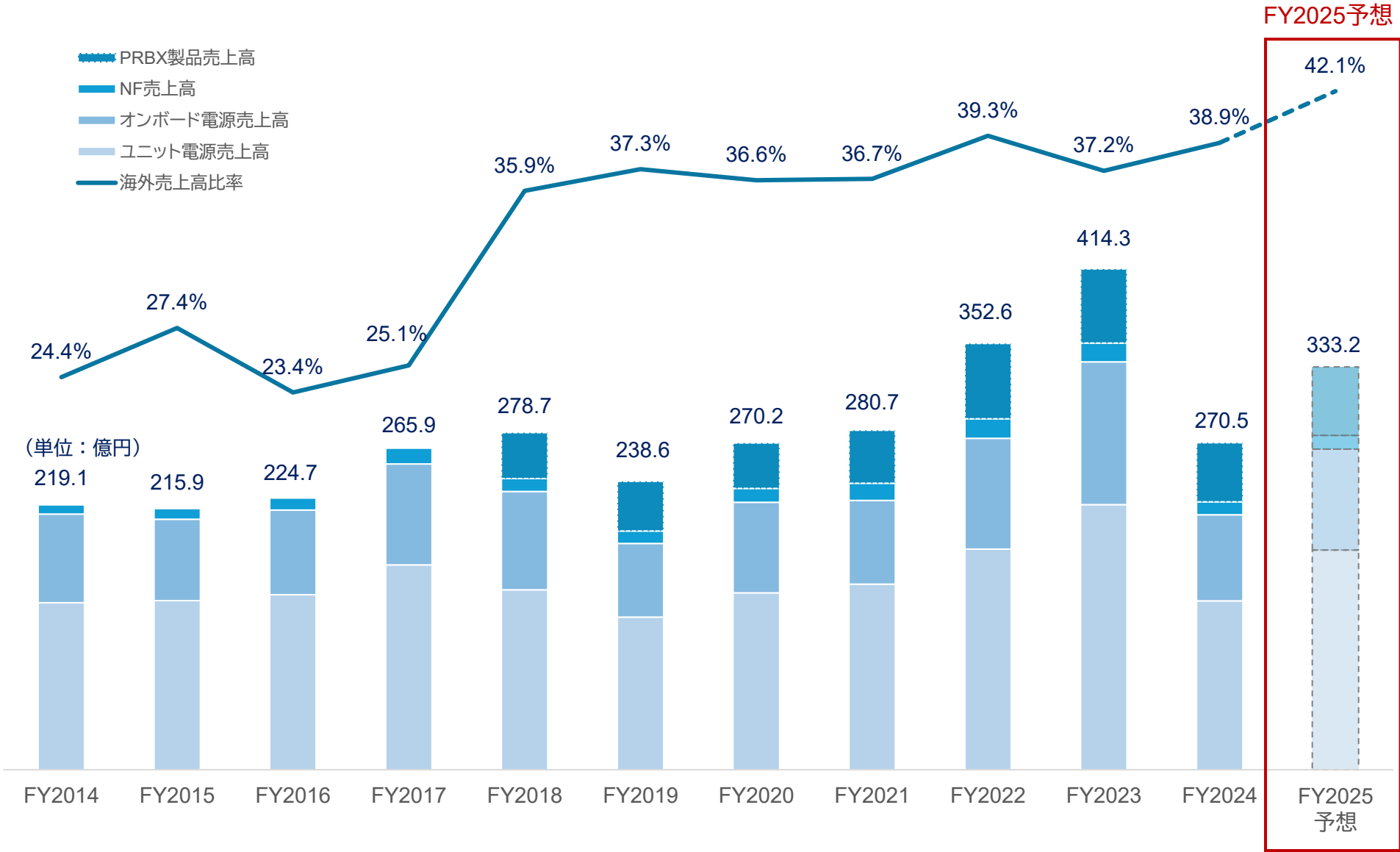
参考資料

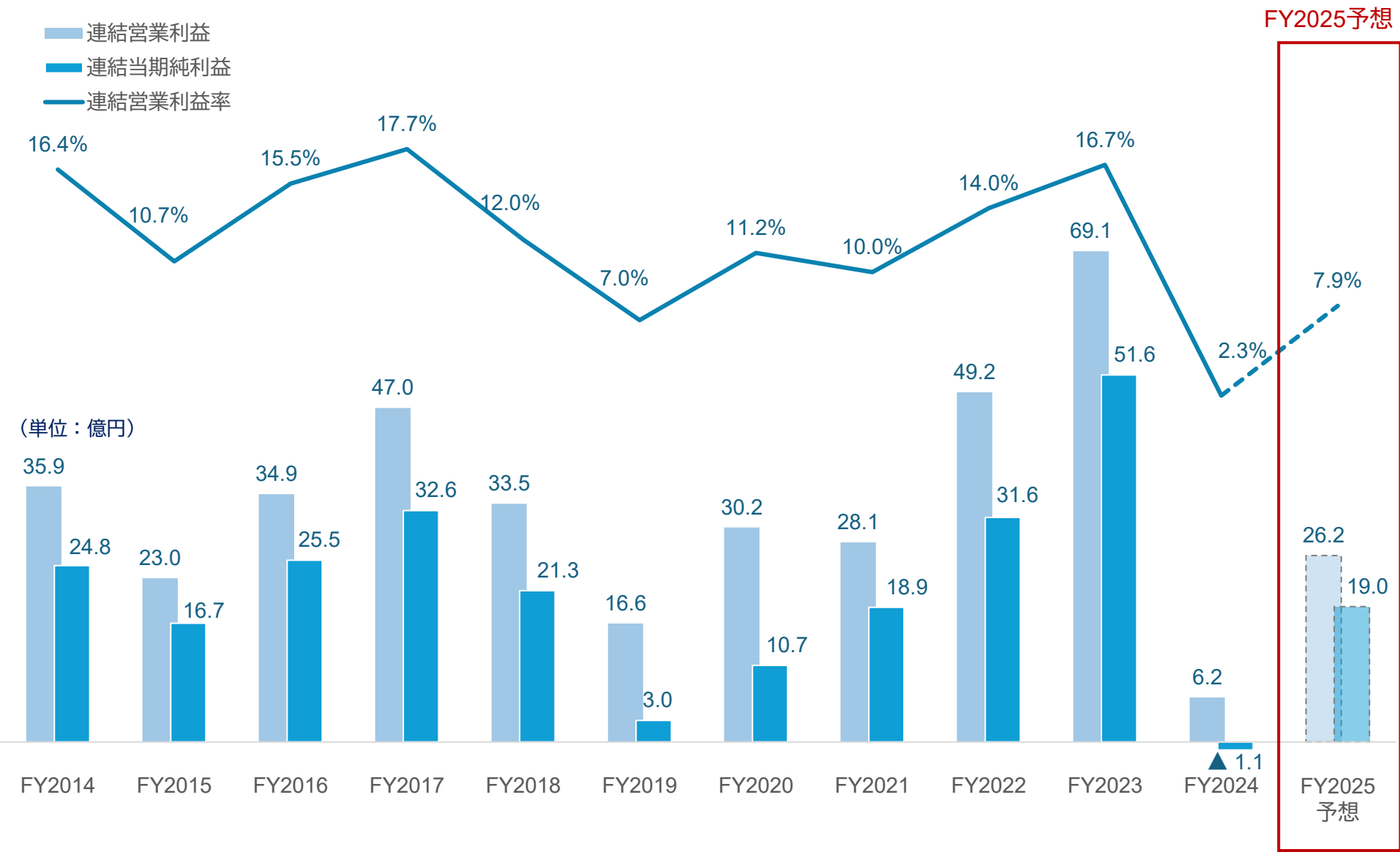
四半期業績



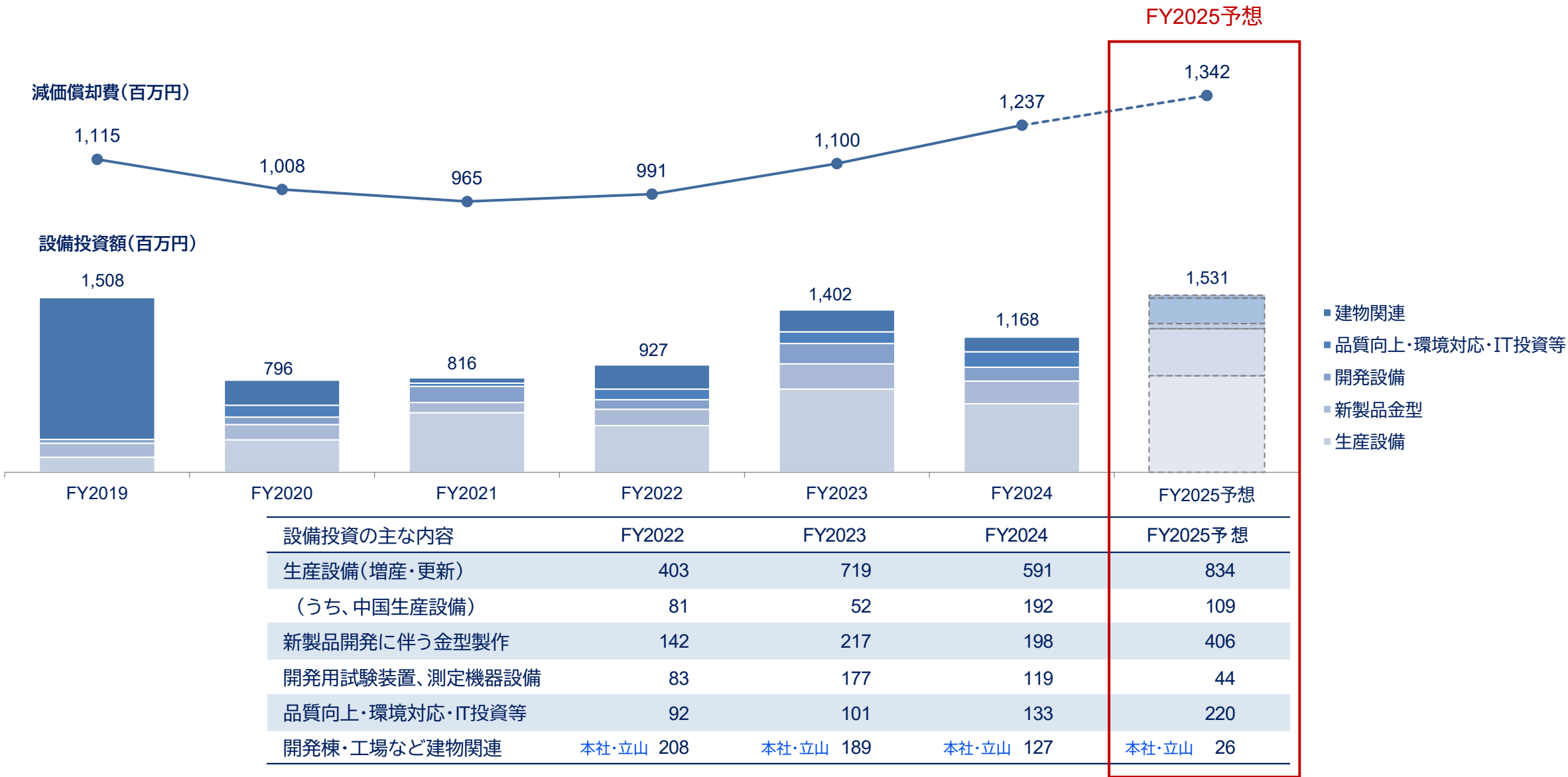
(単位：百万円)	FY2023				FY2024			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	10,390	11,211	9,919	9,915	8,409	6,445	6,361	5,835
売上総利益	3,593	3,830	3,380	2,939	2,437	1,611	1,667	1,491
販管費	1,529	1,675	1,607	2,018	1,859	1,555	1,571	1,593
営業利益	2,063	2,154	1,772	921	578	55	95	▲ 102
営業利益率	19.9%	19.2%	17.9%	9.3%	6.9%	0.9%	1.5%	▲ 1.8%
経常利益	2,268	2,629	1,824	1,126	464	129	45	101
経常利益率	21.8%	23.5%	18.4%	11.4%	5.5%	2.0%	0.7%	1.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,682	1,856	1,118	511	293	▲ 14	2	▲ 395

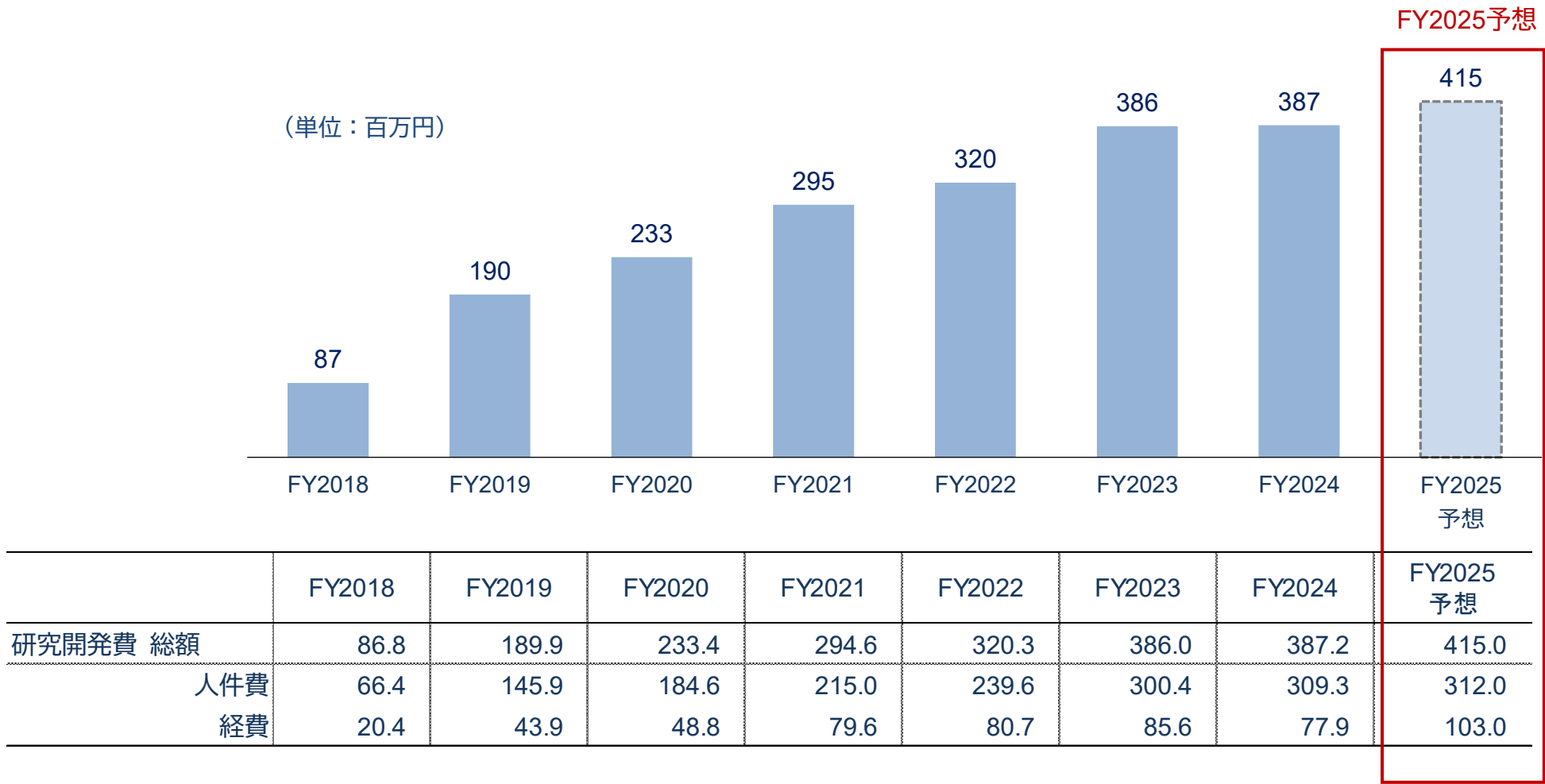
連結売上高・海外売上高比率





設備投資・減価償却費





単体：研究開発費（製・販）+研究室の費用
無錫：開発部署の費用
PRBX：技術資産の増加分 *FY2019～



[将来に関する記述についての注意事項]

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。